

取材のお願い

英国で大蛇がうねる

島根県の石見神楽が9月27日から英国公演

～若手神楽団の公演と専門家によるレクチャーを開催～

国際交流基金は、9月27日より英国において、石見神楽公演およびレクチャーを実施します。本事業は、英国で「日本文化季間」が開催されることを受け、その主要文化行事の一つとなるロンドン・ジャパン祭りをはじめ、カーディフ国立博物館、大英図書館で行います。

今回派遣する「石見神楽」は、石見の国と呼ばれた島根県西部で伝承されてきた神楽です。主に豊作を祈願して神社の秋祭りで奉納されます。儀式的な演目と神話等をもとにした演劇的な演目で構成され、軽快なテンポに合わせた勇壮な舞と豪華絢爛な衣裳は、多くの観衆を惹き付けてきました。伝統芸能ながら時代と共に革新的に進化してきた、今日に生きる芸能として知られています。

今回の初公演では、石見神楽の代表的な演目とされる「大蛇」のパフォーマンスとあわせ、日本の民俗芸能を30年以上に渡り研究してきた日本在住の英国人専門家によるレクチャーを実施します。

古くから地域で受け継がれてきた日本の郷土芸能の紹介を通じて、日本文化の多面的な魅力を伝えるとともに、両国市民の文化交流に貢献します。

記



©AI-KIKAKU



©AI-KIKAKU

事業名称：石見神楽英国公演・レクチャー

主催：国際交流基金

公演日程・会場：2019年9月27日（金）カーディフ国立博物館（カーディフ）
28日（土）大英図書館（ロンドン）
29日（日）ロンドン・ジャパン祭り（ロンドン）

関連講演会：カーディフ国立博物館（カーディフ）、大英図書館（ロンドン）

共催：ロンドン・ジャパン祭り実行委員会、在英国日本国大使館、カーディフ国立博物館、大英図書館

協力：石見観光振興協議会

以上

この件に関するお問い合わせ：

国際交流基金 コミュニケーションセンター（広報担当：熊倉、原田）

Tel: 03-5369-6075 / Fax: 03-5369-6044

E-mail: press@jpf.go.jp



大都（おおつ）神楽団（島根県江津市）

島根県西部に伝わる郷土芸能・石見神楽の新たな担い手として、平成 11 年に結成。風土薫る伝統的な石見神楽の魅力伝えるべく、古典演目の継承に研鑽しつつ、新たな演目の創作を行うなど、継承と発展に向き合いながら活動している。神社の例大祭での奉納はもとより、県内外のイベント等に積極的に出演するほか、都市部での単独公演や海外公演にも取り組んでいる。

2019 年 4 月には、初となる石見神楽専用劇場「舞乃座」が開設されたが、その設立計画時より企画に携わり、現在は、新たなファンの拡大と観光客やインバウンドに対応した石見神楽発信の拠点施設になることを目指して、その運営に取り組んでいる。

テレンス A. ランカシャー（大阪大谷大学 人間社会学部教授）

石見神楽をはじめとする日本の民俗芸能全般が専門。現在、大阪大谷大学および神戸大学等で教鞭を取るかたわら執筆活動を行う。著書に“An Introduction to Japanese Folk Performing Arts (SOAS Studies in Music Series)”等。ロンドン大学東洋アフリカ学学院修士課程修了、大阪大学大学院研究科博士課程修了。

デイビッド W. ヒューズ（ロンドン大学 東洋アフリカ研究学院（SOAS）研究者）

ロンドン大学・東洋アフリカ研究学院（SOAS）音楽学科教授および日本研究センター研究員。30 年近くに渡り日本の伝統的な民俗音楽の研究を行っており、これまでに UK's Japan Society Award (2011)、旭日章 (2017)、小泉文夫音楽賞 (2018) 等を受賞。米国イェール大学修士課程修了、ミシガン大学博士課程修了。